

Ⅸ 様式

1 被害概況即報（第4号様式（その1））

〔災害状況即報〕

消防庁受信者氏名 _____

災害名 _____ (第 _____ 報)

報 告 日 時	年 月 日 時 分
都 道 府 県	
市 町 村 (消 防 本 部 名)	
報 告 者 名	

災 害 の 概 況	発 生 場 所							発 生 日 時	月 日 時 分					
被 害 の 状 況	人 的 被 害	死 者		人	重 傷		人	住 家 被 害	全 壊		棟	床 上 浸 水		棟
		うち 災害関連死者		人					半 壊		棟	床 下 浸 水		棟
		不 明		人		軽 傷			人	一 部 破 損		棟	未 分 類	
	119 番通報の件数													
応 急 対 策 の 状 況	災 害 対 策 本 部 等 の 設 定 状 況		(都道府県)				(市町村)							
	消 防 機 関 等 の 活 動 状 況													
	自 衛 隊 派 遣 要 請 の 状 況													
	その他都道府県又は市町村が講じた応急対策													

(注) 第一報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。
(確認が取れていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

(注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

2 被害状況即報(第4号様式(その2))

[被害状況即報]

都道府県				区分		被害	
災害名 ・ 報告番号	災害名		第 報	田	流失・埋没	ha	
					冠水	ha	
報告者名	(月 日 時現在)		畑	流失・埋没	ha		
				冠水	ha		
報告者名				学 校	箇所		
					病 院	箇所	
区 分		被 害		道 路		箇所	
人的被害	死者	人			橋 り よ う	箇所	
	うち災害関連死者	人		河 川		箇所	
	行方不明者	人			港 湾	箇所	
	負傷者	重傷	人			砂 防	箇所
軽傷		人		清 掃 施 設	箇所		
住家被害	全 壊	棟			崖 く ず れ	箇所	
		世帯		鉄 道 不 通		箇所	
		人			被 害 船 舶	隻	
	半 壊	棟		水 道		戸	
		世帯			電 話	回線	
		人		電 気		戸	
	一 部 破 損	棟			ガ ス	戸	
		世帯		ブ ロ ッ ク 塀 等		箇所	
		人					
	床上浸水	棟		り 災 世 帯 数	世帯		
世帯			り 災 者 数		人		
人				火 災 発 生	建 物 件		
非住家	公共建物	棟	危 険 物 件				
	その他	棟		そ の 他 件			

区 分		被 害		災 害 対 策 本 部 等 の 設 置 状 況	都 道 府 県
公 立 文 教 施 設	千円				
農 林 水 産 業 施 設	千円				
公 共 土 木 施 設	千円				
そ の 他 の 公 共 施 設	千円				
小 計	千円				
公共施設被害市町村数		団体			
そ の 他	農 産 被 害	千円		災 害 救 助 法	市 町 村
	林 業 被 害	千円			
	畜 産 被 害	千円			
	水 産 被 害	千円			
	商 工 被 害	千円			
	そ の 他	千円			
被 害 総 額		千円		119 番通報件数	件
災 害 の 概 況					
応 急 対 策 の 状 況	消 防 機 関 等 の 活 動 状 況				
	自衛隊の災害派遣	その他			

※ 被害額は省略することができるものとする。

※ 119 番通報の件数は、10件単位で、例えば約 10 件、30 件、50 件(50 件を超える場合は多数)と記入

3 緊急通行車両確認証明書

様式第3号

第 号		年 月 日	
緊急通行車両確認証明書			
宮崎県公安委員会 印			
番号標に表示されている番号			
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）			
使用者	住所 氏名	() 局 番	
通行日時			
通行経路		出発地	目的地
備考			

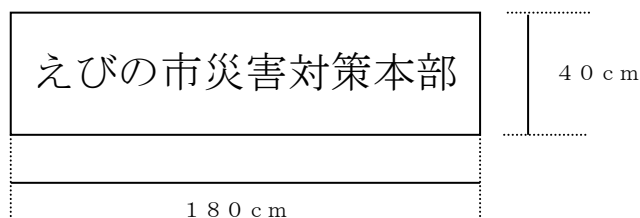
4 緊急通行車両等確認申請書

様式第4号

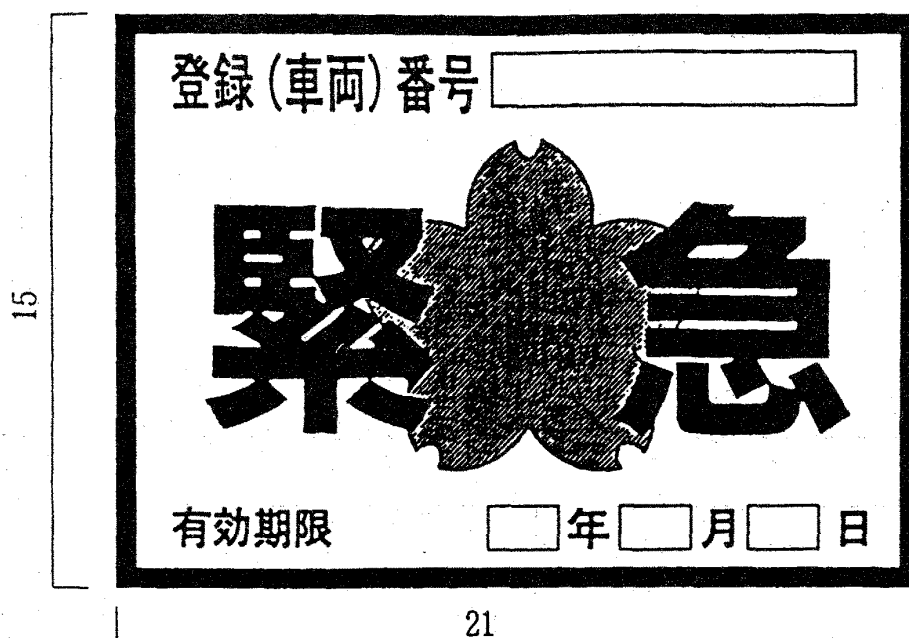
地震防災 災害応急対策用 原子力災害 国民保護措置用		緊急通行車両等確認申請書	
宮崎県公安委員会 殿		申請者住所 (電話) 氏名	年 月 日 印
番号標に表示されている番号			
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）			
使用者	住所 氏名	() 局 番	
通行日時			
通行経路		出発地	目的地
備考			

5 緊急輸送車両の標識及び標章

(1) 緊急輸送車両の標識

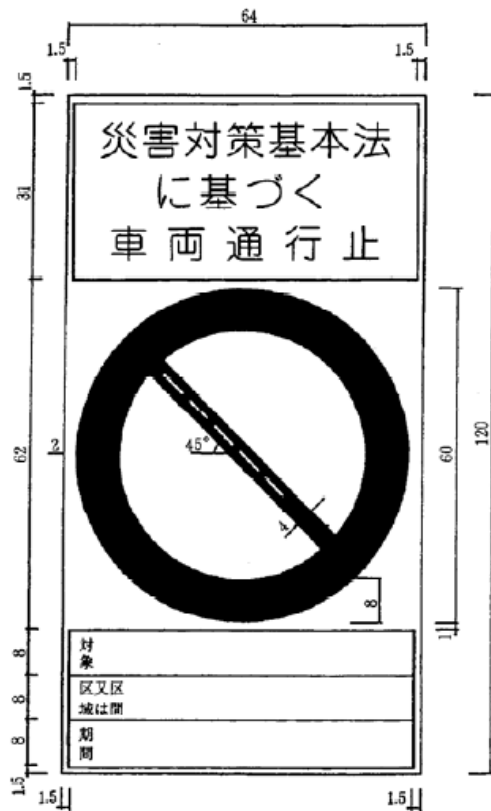


(2) 緊急輸送車両の標識及び標章



- 備考
1. 色彩は記号を黄色、縁および「緊急」の文字を赤色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」および「日」の文字を黒色、登録(車両)番号ならびに年、月および日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
 2. 記号の部分に、表面の画像が光り反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
 3. 図示の長さの単位は、センチメートルとする。

6 交通規制の標識



備考

- 1 色彩は文字、縁線及び区分線を青色、斜めの線及び枠を赤色、地を白色とする。
- 2 縁線及び区分線の太さは、1センチメートルとする。
- 3 図示の長さの単位は、センチメートルとする。
- 4 道路の形状または交通の状況により特別の必要がある場合にあつては、図形の寸法の2倍まで拡大し、または図形の寸法の2分の1まで縮小することができる。

7 罹災証明書

別記様式第1号（第4条関係）

第 号

罹 災 証 明 書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏 名	続 柄	年 齢

罹災原因	年 月 日の <input type="checkbox"/> 台風 号 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 落雷 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> その他（ ）による
------	--

被災住家の所在地	えびの市大字
住家の被害の程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)
浸水区分	

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

えびの市長

8 罹災届出証明書

様式第2号（第4条関係）

第 号

罹 災 届 出 証 明 書

世帯主住所	
世帯主氏名	

罹災原因	年 月 日に発生した <input type="checkbox"/> 台風 号 <input type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 落雷 <input type="checkbox"/> 暴風 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> その他（ ）
------	---

被災非住家の所在地	えびの市大字
被災非住家物件	

※非住家とは、住家以外の不動産又は動産で、この報告中他の被害箇所項目に属さないものとする。
官公署、学校、病院、公民館、神社、仏閣などは非住家とするが、これらの施設に人が居住しているときは、当該部分は住家とする。

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

えびの市長

9 委任状

様式第3号（第5条関係）

委 任 状		年 月 日
代理人住所		
代理人氏名		
委任者との関係		
代理人連絡先		
<p>私は、上記の者を代理人と定め、罹災証明書等の交付申請書に関する権限を委任します。</p>		
委任者 (罹災者)	住 所	
	氏 名	

※本人若しくは同一世帯、相続人以外の方が申請者の場合は、上記の委任状に記入してください。

10 罹災証明書等交付申請書

様式第4号（第6条関係）

(宛先) えびの市長		年 月 日				
罹災証明書等交付申請書						
以下のとおり被害を受けましたので、証明書の交付を申請します。						
罹 災 者	ふりがな					
	氏 名					
	住 所					
	連 絡 先					
申 請 者 ※罹災者と同じ場 合は記入不要	ふりがな				申請者との関係	□本人 □同一世帯の親族 □その他（委任状必要）
	氏 名					
	住 所					
	連 絡 先					
罹 災 世 帯 員 構 成	氏 名	続 柄	生年月日	氏 名	続 柄	生年月日
罹 災 物 件	□住家（□持家 □貸家 □借家（所有者名： ）） ➡罹災証明書※					
	□非住家（□倉庫 □家財 □その他（ ）） ➡罹災届出証明書					
罹 災 場 所	えびの市大字					
罹 災 原 因	年 月 日に発生した □台風 号 □豪雨 □落雷 □暴風 □地震 □その他（ ）					
被 害 状 況	↓ できるだけ詳しくご記入ください ↓					
使 用 目 的	□損害保険 □被災者生活再建支援制度 □税等の減免 □その他（ ）					
※ 実 地 調 査	□「半壊に至らない（一部損壊）」という調査結果に同意します。 自己判定方式の場合、写真で被害認定を行うため、実地調査は行いません。					
確 認 事 項	添付書類	□被害状況写真 □罹災場所の地図 □業者からの証明書（落雷など）				
受 付 番 号 第 号	主管課長	課長補佐	係長	担当者	合議	

1 2 被害認定再調査申請書

様式第6号(第11条関係)

(宛先) えびの市長		年 月 日			
被害認定再調査申請書					
以下の「被害程度」について、再調査を申請します。					
申 請 者	住 所				
	ふりがな			
	氏 名				
	罹災者との関係				
	連絡先				
罹 災 者 氏 名	ふりがな			
	氏 名				
罹 災 住 家	<input type="checkbox"/> 持家 居住者 <input type="checkbox"/> 借家 居住者 (所有者名:) <input type="checkbox"/> 貸家 家主				
罹災住家の所在地	えびの市大字				
判定被害程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊)				
再 調 査 理 由					
罹 災 原 因	年 月 日に発生した _____による。				
交付済証明書情報	番 号	第 号	証明年月日		
受 付 第 号	主管課長	課長補佐	係長	担当者	合 議

※ 被害認定再調査申請書を提出する際は、交付された「罹災証明書」を併せてご提出ください。

※ 「罹災証明書」を交付した翌日から起算して、30日以内の申請期間となります。

※ 被害状況が分かる写真などの資料の添付をお願いします。

※ 被害認定再調査を実施した場合、再調査による結果を優先しますのでご注意ください。

例) 1次調査 → 判定結果：半壊

2次調査 → 判定結果：一部損壊 ← 「再調査の結果を優先」

1 3 自衛隊災害派遣要請様式

	第	号	
	年	月	日
宮崎県知事 殿			
	えびの市長		印
自衛隊の災害派遣要請について			
自衛隊法第83条に基づき、下記のとおり自衛隊の災害派遣要請をお願いいたします。			
記			
1 災害の状況及び派遣を必要とする理由			
2 派遣を必要とする期間			
3 派遣を希望する人員、車両、船舶、航空機、資材等の概数			
4 派遣を希望する区域及び活動内容			
5 その他参考事項			

1 4 自衛隊災害派遣部隊の撤収要請様式

	第	号	
	年	月	日
宮崎県知事 殿			
	えびの市長		印
自衛隊の災害派遣部隊の撤収要請について			
年 月 日付第 号により自衛隊の災害派遣要請を依頼しましたが、災害 応急対策作業が一応完了しましたので、下記のとおり撤収要請をお願いいたします。			
記			
1 撤収要請日時			
2 派遣された部隊			
3 派遣人員及び従事作業の内容			
4 その他参考事項			

15 応援職員要請書

応 援 職 員 要 請 書

年 月 日
時 分

本部室長 様

〇 〇 部長

期 間	年 月 日 ~ 年 月 日
勤務（従事）場所	
勤務（従事）内容	
必 要 人 員	
携 行 品	
集合日時・場所	
その他参考事項	

16 別記様式「災害義援金品の受領書」

災害義援金品の受領書

※

課長	係長	取扱者

受領書

1 金額 ￥

2 品名

ただし

上記のとおり受領いたしました。

年 月 日

様

えびの市長 印

※備考

住所	TEL ー
----	-------

※は控え用紙のみ記入する。

17 災害救助法様式

災害救助法様式1

人的及び住家の被害状況報告(発生・中間・確定)											
災害の名称					災害発生 の日時		年 月 日 時				
災害発生場所											
災害報告の時限			月 日 時		発信機関及び 発信担当者						
人的被害	死者		ア	人	住家の被害	世帯数及び人員	床上浸水	世帯	ツ	世帯	
	行方不明者		イ	人				人員	テ	人	
	負傷	重傷		ウ			人	床下浸水	世帯	ト	世帯
		軽傷		エ			人		人員	ナ	人
		小計		オ			人	非住家の被害(全・半壊)			ニ
	計			カ			人				
住家の被害	棟数	全焼・全壊・流出		キ	棟	災害発生 の原因					
		半焼及び半壊		ク	棟	すでにとつ た救助措 置等					
		一部破損		ケ	棟						
		床上浸水		コ	棟						
		床下浸水		サ	棟						
	世帯数及び人員	全焼・全壊及び 流失		世帯	シ	世帯	法適用の 見込み				
				人員	ス	人					
		半焼及び半壊		世帯	セ	世帯	その他				
				人員	ソ	人					
		一部破損		世帯	タ	世帯					
人員	チ			人							

- (注) (1) 負傷のうち「重傷」とは、1月以上の治療を要する見込みのものとし、「軽傷」とは、1月未満で治癒できる見込みのものとするが、その区分が把握できない場合は、負傷欄の小計をもって報告するもの。
- (2) 「棟」とは、一つの独立した建物をいう。なお、母屋に付着している風呂場、便所等は母屋に含めて1棟とするが、2つ以上の棟が渡り廊下等で接続している場合には2棟とする。
- (3) 「一部破損」とは、住家の破損程度が半壊に達しない程度のものとする。
- (4) 「床下浸水」とは、住家が床上浸水に達しない程度のものとする。

地区別被害状況調

IX-18

災害名																						地方事務所名						
																						調査時刻		年	月	日	時	分
市町村名																						報告時刻		年	月	日	時	分
																						人的被害					住家の被害	
区分 地区名	死亡	行方不明	重傷	軽傷	計	全壊(焼)流失			半壊(焼)			一部破損			床上浸水			床下浸水			地区全体							
						棟	世帯	人員	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員	棟	世帯	人員	世帯	
計																												

(注) 1 本様式は、災害救助法様式1(人的及び住家の被害状況報告(確定))を提出するときに添付すること。
 2 滅失世帯数=(全壊・全焼・流失)世帯数×1+(半壊・半焼)世帯数×1/2+床上浸水世帯数×1/3

世帯別被害調査票

No. _____

災害名																										発信地方事務所名								
市町村名																										調査時刻	年 月 日 時 分							
地区名	被災世帯主住所氏名	世帯主の年齢	世帯主の職業	世帯人員	被害状況													世帯区分					市町村民税課税区分			学童(人)		備考						
					人的被害(人)				住家の被害					被保護				身障	老人	母子	要保護	その他	非課税	均等割	所得割	中学生徒	小学児童							
					死亡	行方不明	重傷	軽傷	全壊	全焼	流失	半壊	半焼	一部破損	床上浸水	床下浸水	生活保護											その他						
小計	世帯			人	人	人	人	人	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	人	人	

- (注) 1 本様式は、災害救助法様式1(人的及び住家の被害状況報告(確定))を提出するときに添付すること。
 2 「人的被害」欄は、該当者数を記入すること。
 3 「住家の被害」欄は、該当するものに○印をつけること。
 4 「世帯区分」欄は、該当するものに○印をつけること。
 5 「市町村民税課税区分」欄は、該当するものに○印をつけること。
 6 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

救助の種目別物資受払状況

市町村名：

No. _____

救助の種目	年月日	品名	単位	受入先又は払出先	購入単価	受高		払高		残高		備考
						数量	金額	数量	金額	数量	金額	
					円		円		円		円	

- (注) 1 「救助の種目別」欄は、次のように区分して記入すること。
 ①避難所用 ②炊き出しその他による食品給与用 ③給水用機械器具 ④被服・寝具等 ⑤医薬品・衛生材料 ⑥被災者救出用機械器具
 ⑦燃料及び消耗品
- 2 各救助の種目別最終行に受高、払高、残高の合計を明らかにすること。
 なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市町村調達分がある場合は、それぞれの別に、受高、払高、残高の合計を明らかにすること。
- 3 救護班による場合には、救護班ごとに、救護業務従事期間中における品目ごとに使用状況を記入すること。

避難所設置及び収容状況

市町村名:

No. _____

避難所の名称	種別	開設期間 月 日～ 月 日	実人員 人	延人員 人	物品使用状況			実支出額 円	備考
					品名	単価 円	数量		
小計	既存建物 箇所								
	野外仮設 箇所								
合計	天幕 箇所		人	人				円	

- (注) 1 「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること
 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品名、単価、数量を記入すること。
 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。
 4 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

応急仮設住宅台帳

市町村名:

No. _____

応急仮設 住宅番号	世帯 主氏 名	家族 人員	所在地	構造区分	面積 (㎡)	敷地区分	着工月日	竣工月日	入居月日	実支出額	備考
							月 日	月 日	月 日	円	
小計 合計											

- (注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号を記入すること。
 2 「家族人員」欄は、入居時における世帯主を含めての人員を記入すること。
 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別をも明らかにすること。
 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。
 7 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。
 8 応急仮設住宅設置箇所を明らかにした簡単な図面を添付すること。

炊き出し給与状況

市町村名:

No. _____

炊き出し場の名称		月 日			月 日			月 日			月 日			実支出額	備 考
		朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜	朝	昼	夜		
	内容													円	
	単価														
	数量														
	内容													円	
	単価														
	数量														
	内容													円	
	単価														
	数量														
	内容													円	
	単価														
	数量														
箇所 小計 合計	内容													円	
	単価														
	数量														

(注) 1 「備考」欄には、給食内容の詳細等を記入すること。

2 「小計・合計」欄は該当しないものを二重線で消すこと。

飲料水の供給簿

市町村名:

No. _____

供給月日	対象 人員	給水用機械器具								実支出額	備考
		名 称	借上			修繕			燃料費		
			数量	所有者住所・氏名	金額	修繕月日	修繕費	修理の概要			
月 日	人			円	月 日	円		円	円		
小 計				円		円		円	円		
合 計	人			円		円		円	円		

- (注)1 給水用機械器具は借上費の有償、無償の別を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。
- 2 「修理の概要」欄には、修理の原因及び主な修理箇所を記入すること。
- 3 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

物資の給与状況

市町村名: _____ No. _____

住家被害 程度区分	世帯主 住所・氏名	基礎となった 世帯構成人員	給与 月日	給与物資						実支出額	備 考
				品名							
		人	月 日	品名						円	
				単価							
				品名							
				単価							
				品名							
				単価							
				品名							
				単価							
小計	全壊(焼)・流失	世帯								円	
	半壊(焼)	世帯								円	
合計	床上浸水	世帯								円	
	計	世帯								円	

災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違ない

年 月 日

給与責任者 氏名

印

- (注) 1 「住家被害程度区分」欄に、全壊(焼)、流失、半壊(焼)、床上浸水の別を記入すること。
 2 「給与月日」欄に、その世帯に対して最後に給与された物資の給与月日を記入すること。
 3 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

災害救助法様式12

救護班活動状況

救護班名:

救護班

部長: 医師 氏名

印

No. _____

月日	市町村名	患者数	措置の概要	死 体 検 索 数	修繕費	備考
		人		体	円	
計		人		体	円	

(注) 「備考」欄に、班の構成、活動期間を記入すること。

病院診療所医療実施状況

市町村名:

No. _____

診療機関名	患者住所	患者氏名	診療期間	傷病名	診療区分		診療報酬区分		金額	備考
					入院日数	通院日数	入院	通院		
			月 日～ 月 日		日	日	点	点	円	
			月 日～ 月 日		日	日	点	点	円	
			月 日～ 月 日		日	日	点	点	円	
			月 日～ 月 日		日	日	点	点	円	
			月 日～ 月 日		日	日	点	点	円	
			月 日～ 月 日		日	日	点	点	円	
			月 日～ 月 日		日	日	点	点	円	
			月 日～ 月 日		日	日	点	点	円	
小計	機				日	日	点	点	円	
合計	関	人			日	日	点	点	円	

(注) 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

助産台帳

市町村名：

No. _____

分べん者 住所・氏名	分べん日時	助産機関名	分べん期間	金 額	備 考
				円	
小 計					
合 計	人			円	

- (注)1 「分べん期間」欄には、「〇月〇日～〇月〇日」と記入すること。
 2 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

被災者救出状況記録簿

市町村名：

No. _____

月 日	救出人員	救出用機械器具								実支出額	備 考
		名 称	借上費			修繕費			燃料費		
			数量	所有者住所・氏名	金額	修繕月日	修繕費	修理の概要			
月 日	人			円	月 日	円		円	円		
小 計				円		円		円	円		
合 計	人			円		円		円	円		

- (注)1 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。
- 2 借上費については、有償、無償を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。
- 3 「修理の概要」欄には、修理の原因及び主な修理箇所を記入すること。
- 4 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

住宅応急修理記録簿

市町村名：

No. _____

世帯主 住所・氏名	修理箇所概要	修理に要 した期間	実支出額	適 用
			円	
小 計				
合 計	世帯		円	

- (注)1 「修理に要した期間」欄には、「〇月〇日～〇月〇日」と記入すること。
 2 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

生業資金貸付台帳

市町村名：

No. _____

貸付を受けた者		保証人			事業計画概要	貸与期間	貸与金額	備考
住所	氏名	住所	氏名	職業				
							円	
小計								
合計	世帯						円	

- (注)1 「貸与期間」欄は「〇年〇月〇日まで〇年〇月間」を記入すること。
 2 「備考」欄は、償還状況等のてん末を明らかにしておくこと。
 3 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

学用品の給与状況

市町村名：

No. _____

学校名	学年	児童(生徒) 氏名	親権者 氏名	給与月日	給与品の内訳						実支出額	備考
					教科書			学用品				
					教科			品名				
					単価			単価				
				月 日							円	
小計	小学校 校	人			数量				数量			
合計	中学校 校	人			数量				数量			

学用品を上記のとおり給与したことに相違ない。

年 月 日

給与責任者(学校長) 氏名

印

(注)1 「給与月日」欄に、その児童(生徒)に対して最後に給与した月日を記入すること。

2 「給与品の内訳」欄には、教科又は品名、単価、数量を記入すること。

3 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

埋葬台帳

市町村名：

No. _____

死亡 年月日	埋葬 年月日	死亡者		遺族住所・氏名	埋葬を行った者		埋葬費				備考
		氏名	年齢		死亡者との 関係	住所・氏名	棺 (付属品を含む。)	埋葬又は 火葬料	骨箱	計	
年 月 日	年 月 日						円	円	円	円	
							現物給与 有・無	支給額 円	現物給与 有・無	支給額 円	
年 月 日	年 月 日						円	円	円	円	
							現物給与 有・無	支給額 円	現物給与 有・無	支給額 円	
年 月 日	年 月 日						円	円	円	円	
							現物給与 有・無	支給額 円	現物給与 有・無	支給額 円	
年 月 日	年 月 日						円	円	円	円	
							現物給与 有・無	支給額 円	現物給与 有・無	支給額 円	
小計							円	円	円	円	
合計		人					現物給与 有・無	支給額 円	現物給与 有・無	支給額 円	

(注)1 「埋葬費」欄には、現物給与の有無、埋葬又は火葬費の支給額等も各々記入すること。

2 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

死体処理台帳

市町村名：

No. _____

処 理 年月日	死体 発見 日時	死体 発見 場所	死亡者 氏 名	遺 族		洗 浄 等 の 処 理				死体の 一 時 保存料	検 案 料	実 支 出 額	備 考
				住所・氏名	死亡者 との関係	品 名	単 価	数 量	金 額				
年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
年 月 日	月 日 時						円		円	円	円	円	
小 計 合 計			人						円	円	円	円	

(注) 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

障害物除去の状況

市町村名:

No.

住家被害 程度区分	世帯主 住所・氏名	除去に要した期間	実支出額	除去を要すべき 状態の概況	備考
小計	半 壊 世帯				
合計	半 焼 世帯				
	床上浸水 世帯				
			円		

(注)1 「住家被害程度区分」欄には、半壊、半焼、床上浸水の別を記入すること。

2 「除去を要した期間」欄には、「〇月〇日～〇月〇日」と記入すること。

3 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

輸送記録簿

市町村名：

No. _____

輸送 月日	目的	輸送区間 (距離)	借上等			修繕					燃料費	実支出額	備考
			使用車輛等		金額	故障車輛等		修繕 月日	修繕費	故障の概要			
			種類	台数		名称番号	所有者住所・氏名						
月 日					円			月 日	円		円	円	
小計													
合計				台	円				円		円	円	

- (注)1 「目的」欄は主たる目的(又は救助の種類名)を記入すること。
- 2 都道府県又は市町村の車輛等による場合は「備考」欄に車輛番号を記入すること。
- 3 借上車輛等による場合は有償無償を問わず記入すること。
- 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車輛等の借上費を記入すること。
- 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。
- 6 「小計・合計」欄は、該当しないものを二重線で消すこと。

